

新発田市 令和 2 年度 第 8 回定例記者会見

1 日 時 令和 3 年 1 月 8 日（金）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- 「健康長寿をのばそう！アワード」厚生労働省健康局長賞受賞
- 刀剣伝承館・天田昭次記念館に日本刀寄贈に伴う特別展示
- 落谷虹児作品および寄附金の寄贈
- 信金中央金庫より企業版ふるさと納税の申し出

あいさつ

○あけましておめでとうございます。大変な大雪となっています。昨日、突風が吹き、今朝報告を受けましたが、倒木が 3 か所ほどあったとのこと。人的なものや家屋への被害がなかったので安堵しています。

○私の地元菅谷地区の菅谷寺に樹齢何百年になる松の名木がありますが、枝の先方がこの雪で折れてしまいました。中間は生きているので、何とか生かしてもらえればと思っています。

○雪もこの程度で終わればいいなと思っています。早速、除雪費 5 億円の専決処分の報告をさせてもらい、市民生活の確保に当たらせてもらいたいと考えています。

それでは、会見項目を説明いたします。

初めに、『健康長寿をのばそう！アワード』厚生労働省健康局長賞受賞について

- 当市のまちづくりを支える、大きな柱の一つに、「健康長寿」に対する取組が、この度、厚生労働省などが主催する「第 9 回 健康長寿をのばそう！アワード」で優良事例として、厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。
- 昨年 3 月に健康長寿アクティブプランを策定し、4 月には拠点施設・健康

長寿アクティブ交流センターを開館するなど「健康長寿のまち しばた」の実現に向けた取組を進めています。

○今回の受賞は、プランづくりから、地域住民や関係団体、保健自治会、食生活改善委員推進協議会、めざせ 100 彩推進協議会など、「健康長寿」に関わる皆さんがともに力を尽くし、食・運動・医療・社会参加という 4 分野において、市民・地域・学校・企業などが、まさに「オールしばた」の体制をつくり、取り組んでいることを評価いただいたと聞いています。

○赤ちゃんから高齢者まで、地域でいきいきと暮らし続ける「健康長寿のまち しばた」づくりに向けて、今後も、健康寿命を延伸し、平均寿命新潟県トップを目指して取組を進めてまいります。

次に、「刀剣伝承館・天田昭次記念館 日本刀寄贈に伴う特別展示」について

○このたび、人間国宝・故 天田昭次氏が制作した日本刀 4 振りが市に寄贈されました。寄贈してくださったのは、元天田昭次後援会・会長の方で、ぜひとも多くの皆さんに天田氏が製作された素晴らしい作品をご覧いただきたいという強い思いをお持ちだと聞いています。

○これを受けまして、6 月 30 日（水）までの間、寄贈された作品の特別展示をカリオンパークにある「刀剣伝承館・天田昭次記念館」で開催します。同館には、日本刀の最高峰である「政宗賞」を受賞した天田氏の作品をはじめ、様々な刀剣類を展示しているほか、刀の製作工程や日本刀の材料となる「玉鋼」^{たまはがね}などもご覧いただけます。

○空前のヒットとなっているアニメ「鬼滅の刃」では、鬼を倒す必須アイテムとして「刀」が取り上げられているようですが、人間国宝・天田氏の刀剣の輝き、美しさはまさに別格。子どもから大人まで、本物を間近にご覧いただく絶好の機会となりますので、ぜひ、来館してほしいと思います。

次に、落谷虹児作品および寄附金の寄贈について

- 新発田市出身の抒情画家・落谷虹児のご子息である落谷龍夫氏から、ご自身で所有されていた父・落谷虹児の原画・書籍など、たくさんの寄附をいただきました。
- 内容は原画約 300 点に加え、作品が掲載された書籍を頂戴し、その中には、市の市街地循環バスのラッピングに使用している「いっすんぼうし」も含まれています。また、落谷虹児の作品を末永く顕彰することや作品収集に充てほしいとの御意向により、1 千万円の寄付金も頂戴しました。
- 落谷虹児の代表作「花嫁」は、華やかさから郵便切手のモチーフに採用されております。また、彼が作詞を手掛けた唱歌「花嫁人形」を題材とした、花嫁人形合唱コンクール開催などを通じて、落谷虹児の作品は新発田市を全国に向けて PR するための貴重な資源の一つとなっています。ご子息・龍夫氏からの所縁の地・新発田へのお気持ちを最大限に活用させていただきたいと思っています。

次も、新発田市への寄付の話題となります。「信金中央金庫より、企業版ふるさと納税の申し出」をいただいた件について

- 新発田市のまちづくりの取組を企業から応援いただく、企業版ふるさと納税。これまでも、株式会社ウオロクから応援いただき、市街地での買い物難民の解消に向けた取組や市街地循環バスのバス停整備などに活用させていただいています。
- 今回、信用金庫の中央金融機関「信金中央金庫」が、創立 70 周年記念事業の一環として、SDGs の考え方を踏まえ、地域課題解決および持続可能な社会の実現に寄与を目的に実施された S C B ふるさと応援団事業において、新発田市に対して、企業版ふるさと納税 1 千万円のお申し出をいただくことが出来ました。
- 選ばれた理由としては、大倉喜八郎の向島別邸「蔵春閣」の移築・復元に合わせ、大倉翁が困難に怯まず、立ち止まらず難局を突破する精神「進一層」に、地元の新発田信用金庫などと連携して挑む、新発田駅前活性化プロジェクトが評価され、全国から選出された 40 自治体の一つに新発田市

も加えていただいたものです。

○新発田駅前エリア活性化プロジェクトに対しては、令和元年度から今回の信金中央金庫まで合わせて、9件、1千170万円の企業版ふるさと納税を頂戴していますが、いずれは日本の宝となる「蔵春閣」の移築・復元を一つの契機として、コロナ禍における明るい話題の一つとして、まちの活性化に向けた取組に有効活用していきたいと考えています。

○なお、2月8日（月）午後4時30分から、ヨリネスしばたで目録の贈呈式を予定しています。詳細が決まり次第、改めてお知らせしますので、取材いただき、プロジェクトのPRにご協力くださるようお願いいたします。

本日お知らせする情報は以上となります。

なお、コロナ関連としては、1月7日の国の緊急事態宣言発令に伴い、1月7日午後8時45分に、「新発田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を、新型インフルエンザ等特別措置法第34条第1項の規定に基づいた対策本部会議へと移行させています。

また、本日11時から、新潟県対策本部会議が開催されており、今後、県から示される対策と整合性を取っていくこととなりますが、引き続き、新しい生活様式の中でのマスク、うがい、手洗いなど感染防止対策や、感染リスクが高まる場面の回避など、市民の皆様に対しては注意喚起をしまいたいと考えています。

例年になく荒れた天候、大雪への対応など、困難な状況は続きますが、市民の皆様には元気が届けられる、明るい話題を増やしていけるよう、引き続き、努力をしたいと思います。

報道各社の皆様には、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますようお願いいたします。